

# 第174期 定時株主総会 招集ご通知

## 日時

平成29年6月29日（木曜日）午前10時

## 場所

千葉県千葉市中央区本千葉町15番1号  
京成ホテルミラマーレ6階「ローズルーム」



書面及びインターネット  
による議決権行使期限

平成29年6月28日（水曜日）  
午後6時まで

## 目次

第174期定時株主総会招集ご通知……………	1
議決権行使のご案内……………	3
[添付書類]	
事業報告……………	5
連結計算書類……………	19
計算書類……………	21
監査報告……………	23
[株主総会参考書類]	
第1号議案 第174期剰余金処分の件……………	27
第2号議案 取締役16名選任の件……………	28
第3号議案 監査役1名選任の件……………	36

(証券コード 9009)  
平成29年6月7日

株 主 各 位

千葉県市川市八幡三丁目3番1号  
**京成電鉄株式会社**  
代表取締役社長 三 枝 紀 生

## 第174期定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第174期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようご通知申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面又はインターネットにより議決権を行使することができますので、お手数ながら後記「株主総会参考書類」をご検討いただき、3ページ及び4ページ記載の「議決権行使のご案内」をご参照のうえ、**平成29年6月28日（水曜日）午後6時まで**に議決権を行使していただきますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時	平成29年6月29日（木曜日）午前10時
2. 場 所	千葉県千葉市中央区本千葉町15番1号 <b>京成ホテルミラマーレ 6階「ローズルーム」</b> (末尾記載の株主総会会場ご案内図をご参照ください。)
3. 会 議 の 目的事項	<b>報告事項</b> 1. 第174期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件 2. 第174期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)計算書類報告の件 <b>決議事項</b> <b>第1号議案</b> 第174期剰余金処分の件 <b>第2号議案</b> 取締役16名選任の件 <b>第3号議案</b> 監査役1名選任の件

#### 4. 招集にあたっての決定事項等

- (1) 複数回にわたり議決権を行使された場合の取り扱い  
書面とインターネットにより重複して議決権を行使された場合は、インターネットによる議決権行使の内容を有効とさせていただきますのでご了承ください。  
インターネットにより複数回にわたり議決権を行使された場合は、最後に行使された内容を有効とさせていただきます。
- (2) 代理人による議決権行使  
株主総会にご出席いただけない場合、議決権を有する他の株主1名を代理人として株主総会にご出席いただくことが可能です。ただし、代理権を証明する書面のご提出が必要となりますのでご了承ください。
- (3) インターネット開示に関する事項  
次に掲げる事項については、法令及び当社定款第15条の規定に基づき、当社ホームページ (<http://www.keisei.co.jp/>) に掲載しておりますので、本株主総会招集ご通知添付書類には記載していません。なお、監査役・会計監査人が監査した事業報告、連結計算書類及び計算書類は、本株主総会招集ご通知添付書類に記載の各書類のほか、上記の当社ホームページに掲載の事項となります。
  - ① 事業報告の「業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況」「会社の支配に関する基本方針」
  - ② 連結計算書類の「連結株主資本等変動計算書」「連結注記表」
  - ③ 計算書類の「株主資本等変動計算書」「個別注記表」
- (4) 株主総会参考書類並びに添付書類記載事項を修正する場合の周知方法  
株主総会参考書類並びに添付書類に記載すべき事項を修正する必要がある場合は、修正後の事項を当社ホームページ (<http://www.keisei.co.jp/>) に掲載いたしますのでご了承ください。

以上

当日ご出席の際は、同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出願います。また、資源節約のため、この「招集ご通知」をお持ちくださいますようお願い申し上げます。



## インターネットによる議決権行使のご案内

### 1. 行使方法

- (1) 議決権行使サイトにおいて、議決権行使書用紙に記載された「ログインID」及び「仮パスワード」をご利用いただき、画面の案内に従って賛否をご入力ください。
- (2) 株主様以外の第三者による不正アクセス（“なりすまし”）や議決権行使内容の改ざんを防止するため、ご利用の株主様には、議決権行使サイト上で「仮パスワード」の変更をお願いすることになりますのでご了承ください。
- (3) 株主総会の招集の都度、新しい「ログインID」及び「仮パスワード」をご通知いたします。

### 2. その他

- (1) インターネットによる議決権行使は、パソコン、スマートフォン又は携帯電話（iモード、EZweb、Yahoo!ケータイ）（※）から、当社の指定する議決権行使サイト（<http://www.evotage.jp/>）にアクセスしていただくことによるのみ実施可能です。（ただし、毎日午前2時から午前5時までは取り扱いを休止します。）
- (2) パソコン又はスマートフォンによる議決権行使は、インターネット接続にファイアーウォール等を使用されている場合、アンチウイルスソフトを設定されている場合、proxyサーバーをご利用の場合、TLS暗号化通信を指定されていない場合等、株主様のインターネット利用環境によっては、ご利用できない場合もございます。
- (3) 携帯電話による議決権行使は、iモード、EZweb、Yahoo!ケータイのいずれかのサービスをご利用ください。また、セキュリティ確保のため、TLS暗号化通信及び携帯電話情報の送信が不可能な機種には対応しておりません。
- (4) 議決権行使サイトへのアクセスに際して発生する費用（インターネット接続料金等）は、株主様のご負担となります。また、携帯電話等をご利用の場合は、パケット通信料・その他携帯電話等利用による料金が必要になりますが、これらの料金も株主様のご負担となります。

（※）「iモード」は㈱NTTドコモ、「EZweb」はKDDI㈱、「Yahoo!」は米国Yahoo! Inc.の商標又は登録商標です。

#### システム等に関するお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部（ヘルプデスク）

電話 0120-173-027（受付時間 9：00～21：00、通話料無料）

### 【議決権電子行使プラットフォームについて】

管理信託銀行等の名義株主様（常任代理人様を含みます。）につきましては、㈱東京証券取引所等により設立された合弁会社(株)ICJが運営する議決権電子行使プラットフォームの利用を事前に申し込まれた場合には、当社株主総会における電磁的方法による議決権行使の方法として、上記のインターネットによる議決権行使以外に、当該プラットフォームをご利用いただくことができます。

以上

## 1. 企業集団の現況に関する事項

### (1) 事業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、経済対策等を背景に雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復基調にあります。海外経済の不確実性に加え、個人消費や企業収益の改善に足踏みが見られるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、全事業にわたり積極的な営業活動を展開するとともに、より一層の経費削減に取り組むなど、業績の向上に努めたほか、「BMK（ベストマナー向上）推進運動」にも引き続き取り組み、お客様サービスの向上を図ってまいりました。

その結果、全事業営業収益は2,458億3千7百万円（前期比2.1%減）となりましたが、全事業営業利益は300億4千8百万円（前期比6.4%増）となりました。経常利益は470億6千4百万円（前期比10.6%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は357億1千1百万円（前期比15.2%増）となりました。

次に事業別にご報告いたします。

### 運 輸 業

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、高架橋の耐震補強工事等を実施したほか、昨年12月にデジタルATSの全線における設置が完了いたしました。

大規模工事については、押上線連続立体化工事において、本年3月に墨田区内の事業が完了したほか、葛飾区内の仮下り線工事を推進いたしました。また、本年3月に千住大橋駅の駅舎改良工事が完了いたしました。

営業面では、昨年11月にダイヤ改正を行い、スカイライナー及びアクセス特急を増発したほか、千葉線・千原線において、一部列車を除き4両編成を6両編成とすることにより、輸送力の増強を図りました。また、訪日外国人の利便性向上に向け、「スカイライナー&京成インフォメーションセンター」を成田空港駅構内にオープンしたことに加え、自動券売機の多言語化を京成線全駅で行いました。このほか、「京成スカイライナー&東京サブウェイチケット」の海外旅行会社における販売を拡大するとともに、スカイライナーと帝都タクシーがセットで利用できる企画乗車券「京成スカイライナー&帝都タクシー」を発売するなど、各種営業施策を実施いたしました。

バス事業では、一般乗合バス路線において、既存路線の増便や系統新設等を実施いたしました。高速バス路線においては、成田空港・芝山町と大崎駅を結ぶ「成田シャトル」等の運行を開始したほか、需要に合わせた「東京シャトル」のダイヤ改正等を実施いたしました。また、訪日外国

人向けに京成バス株式会社において、スマートフォンを活用した通訳サービスを導入いたしました。

タクシー事業では、電話回線混雑時でもスムーズな配車を可能にする自動音声配車システムを拡大し、お客様サービスの向上を図りました。また、葛飾区のタクシー会社より事業を譲受し、昨年8月から帝都葛飾交通株式会社として営業を開始いたしました。

以上の結果、訪日外国人増加の影響等により、営業収益は1,443億2千2百万円（前期比3.1%増）となり、営業利益は212億8千7百万円（前期比15.9%増）となりました。

## 流通業

百貨店業では、新規ブランドを導入したほか、新店開店10周年を記念した各種イベントを開催するなど、販売の強化に努めました。

ストア業では、リブレ京成江戸川駅前店の改装工事を実施したほか、京成津田沼駅及び青砥駅構内にコンビニエンスストアの新店舗をオープンするなど、収益の拡大に努めました。

ショッピングセンター業では、ユアエルム八千代台店が新規出店テナントを加えてリニューアルオープンし、集客を図りました。

しかしながら、営業収益は684億1千5百万円（前期比1.9%減）となり、営業利益は9億2千1百万円（前期比20.9%減）となりました。

## 不動産業

不動産販売業では、「サングランデ ザ・レジデンス千葉」及び「サングランデ松戸」の中高層住宅を販売いたしました。また、中高層住宅予定地として習志野市鷺沼台土地を取得いたしました。

不動産賃貸業では、江東区潮見のビジネスホテル、土浦市生田町及び曳舟高架下の商業施設のほか、船橋高架下において、保育施設が稼働いたしました。また、四街道市大日の商業施設や墨田区業平の賃貸施設等を取得いたしました。

しかしながら、営業収益は174億5千7百万円（前期比21.0%減）となり、営業利益は56億2千1百万円（前期比16.3%減）となりました。

## レジャー・サービス業

ホテル業では、京成ホテルミラマーレにおいて、各種宿泊プランを企画するなど、新規顧客の獲得に努めました。

旅行業では、新しい商品の企画・催行により、営業力の強化を図りました。

以上の結果、営業収益は101億6千6百万円（前期比0.5%増）となり、営業利益は3億2百万円（前期比7.5%増）となりました。

## 建設業

建設業では、鉄道施設改良工事や分譲マンションの新築工事等を行ったほか、新規受注先の拡大に努めました。

以上の結果、営業収益は216億7千3百万円（前期比13.3%減）となりましたが、営業利益は15億円（前期比21.2%増）となりました。

### (2) 対処すべき課題

当社グループを取り巻く事業環境は、少子高齢化、国際情勢等の影響により、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。当社グループは、平成28年度から新たにスタートいたしました中期経営計画「E3プラン」を着実に推進し、事業の中核である運輸業の競争力・収益力をさらに強化するとともに、沿線に密着した堅実な総合生活産業を展開し、地域経済を代表する企業グループの地位を拡充してまいります。

運輸業では、ホームドアの設置等による安全輸送の徹底及び安全管理体制のさらなる強化を図ってまいります。このほか、鉄道事業においては、成田空港輸送の利便性・認知度を向上させ、訪日外国人を中心とした空港旅客の取り込み強化を図ってまいります。バス・タクシー事業においては、BRT事業の円滑な推進やお客様サービスの更なる向上に取り組んでまいります。

流通業では、計画的な出店やテナントリーシング機能の強化等により、収益力の強化を図ってまいります。

不動産業では、不動産販売業における新規事業用地取得並びに販売力の強化による収益確保に努めてまいります。また、不動産賃貸業においては、収益性の高い賃貸資産の拡充及びグループ保有資産の有効活用を推進してまいります。

レジャー・サービス業では、ホテル業における宿泊主体型事業への参入及び付加価値の高いサービスの提供等により、収益力の強化を図ってまいります。

建設業では、競争力の強化と新規顧客層の拡充により、受注の拡大を目指してまいります。

当社グループは、グループ経営理念に基づき、「安全・安心」と、お客様に喜ばれる商品・サービスを提供し、沿線を中心とする地域の発展に寄与してまいります。また、コンプライアンス・リスク管理体制を充実させ、内部統制システムの強化に努めるとともに、常に自然環境との調和に配慮するなど、企業の社会的責任の遂行に取り組んでまいります。さらに、お客様第一主義を徹底し、「BMK（ベストマナー向上）推進運動」を浸透させ、選ばれる京成グループを構築してまいります。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



### (3) 設備投資の状況

当連結会計年度中に実施した主な設備投資は次のとおりであります。

#### ① 竣工した工事等

運輸業

鉄道事業

【当 社】 車両新造22両  
ATS地上装置改良工事  
駅務多機能機更新  
千住大橋駅駅舎改良工事  
押上線（押上・八広駅間）連続立体化工事

バス事業

【京成バス(株)】 車両新造80両

【千葉交通(株)】 車両新造17両

流通業

【(株)水戸京成百貨店】 店舗改装工事

【(株)ユアエルム京成】 八千代台店店舗改装工事

不動産業

【当 社】 四街道市大日商業施設取得  
江東区潮見賃貸施設新築工事（ビジネスホテル）  
土浦市生田町商業施設新築工事  
墨田区業平賃貸施設取得（店舗・事務所・賃貸住宅）  
松戸市紙敷賃貸住宅取得

#### ② 施行中の工事等

運輸業

鉄道事業

【当 社】 高架橋耐震補強工事  
変電所設備機器更新工事  
押上線（四ツ木・青砥駅間）連続立体化工事

【北総鉄道(株)】 高架橋耐震補強工事

不動産業

【当 社】 文京区白山賃貸住宅新築工事

#### (4) 資金調達の状況

当社グループは、社債償還資金、借入金返済資金、設備資金に充当するため、社債100億円を発行し、また金融機関から所要の借入を行いました。

#### (5) 財産及び損益の状況の推移

区 分	平成25年度 (第171期)	平成26年度 (第172期)	平成27年度 (第173期)	平成28年度 (当期)
営 業 収 入 百万円 益	244,995	249,016	251,204	245,837
経 常 利 益 百万円 益	36,980	37,169	42,572	47,064
親会社株主に帰属する当期純利益 百万円	27,048	25,683	30,997	35,711
1株当たり当期純利益 円	79.90	75.86	91.55	210.96
総 資 産 百万円 産	759,388	782,257	781,280	795,447

- (注) 1. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数（自己株式控除後）に基づき算出しております。  
2. 当社は、平成28年10月1日をもって、普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っておりますが、平成28年度（当期）の1株当たり当期純利益は、期首に当該株式併合が行われたものと仮定して算出しております。

#### (6) 重要な親会社及び子会社の状況

##### ① 親会社との関係

該当事項はありません。

##### ② 重要な子会社の状況

会 社 名	資 本 金	出 資 比 率	主 要 な 事 業 内 容
北 総 鉄 道 株 式 会 社	百万円 24,900	% 50.04	鉄道事業
京 成 バ ス 株 式 会 社	2,005	100.00	バス事業
帝 都 自 動 車 交 通 株 式 会 社	500	100.00	タクシー事業
株 式 会 社 京 成 ス ト ア	475	100.00	ストア業
京 成 建 設 株 式 会 社	450	69.05	建設業
株 式 会 社 水 戸 京 成 百 貨 店	200	76.00	百貨店業

- (注) 1. 出資比率については、議決権比率により記載しております。  
2. 帝都自動車交通株式会社の主要な事業内容には、当社の連結子会社8社（帝都自動車交通株式会社（新橋・竹橋）、帝都自動車交通株式会社（渋谷・銀座）、帝都自動車交通株式会社（神田・日本橋）、帝都自動車交通株式会社（墨田）、帝都自動車交通株式会社（日暮里）、帝都自動車交通株式会社（大森）、帝都自動車交通株式会社（板橋）、帝都葛飾交通株式会社）を含めて記載しております。  
3. 特定完全子会社に該当する子会社はありません。

## ③ その他の重要な企業結合の状況

## ア. 重要な関連会社の状況

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
株式会社オリエンタルランド	百万円 63,201	% (21.97) 21.89	東京ディズニーリゾートの経営
新京成電鉄株式会社	5,935	(41.07) 39.23	鉄道事業

- (注) 1. 出資比率については、議決権比率により記載しております。  
2. ( ) 内の数字は、当社の子会社の議決権数を含めた比率であります。

## イ. その他の重要な事業再編等

該当事項はありません。

## (7) 主要な事業内容 (平成29年3月31日現在)

## ① 運輸業

事業の内容	主要な会社名
鉄道事業	当社、北総鉄道(株)、千葉ニュータウン鉄道(株)
バス事業	京成バス(株)、千葉交通(株)、東京ベイシティ交通(株)、京成トランジットバス(株)、千葉中央バス(株)、成田空港交通(株)、京成バスシステム(株)、京成タウンバス(株)、千葉内陸バス(株)、千葉海浜交通(株)
タクシー事業	帝都自動車交通(株)、船橋交通(株)、合同タクシー(株)

- (注) 帝都自動車交通株式会社には、当社の連結子会社8社(帝都自動車交通株式会社(新橋・竹橋)、帝都自動車交通株式会社(渋谷・銀座)、帝都自動車交通株式会社(神田・日本橋)、帝都自動車交通株式会社(墨田)、帝都自動車交通株式会社(日暮里)、帝都自動車交通株式会社(大森)、帝都自動車交通株式会社(板橋)、帝都葛飾交通株式会社)を含んでおります。

## ② 流通業

事業の内容	主要な会社名
ストア業	(株)京成ストア、(株)コミュニティー京成
百貨店業	(株)水戸京成百貨店
園芸植物卸売業	京成バラ園芸(株)
ショッピングセンター業	(株)ユアエルム京成

③ 不動産業

事業の内容	主要な会社名
不動産販売業	京成不動産(株)、当社
不動産賃貸業	当社
不動産管理業	京成ビルサービス(株)

④ レジャー・サービス業

事業の内容	主要な会社名
飲食・映画業	(株)イウォレ京成
ホテル業	(株)千葉京成ホテル、京成ホテル(株)
広告代理業	(株)京成エージェンシー
旅行業	京成トラベルサービス(株)

⑤ 建設業

事業の内容	主要な会社名
建設業	京成建設(株)、京成電設工業(株)

⑥ その他の事業

事業の内容	主要な会社名
鉄道車両整備業	京成車両工業(株)
自動車車体製造業	京成自動車工業(株)
保険代理業	(株)京成保険コンサルティング
自動車教習所業	(株)京成ドライビングスクール

(8) 主要な事業所等 (平成29年3月31日現在)

当 社	本 社	千葉県市川市
	鉄道営業キロ	152.3km
	駅 数	69駅 (東京都19駅、千葉県50駅)
	車 両 数	客車582両
	賃 貸 物 件	京成押上ビル (東京都墨田区)、京成上野ビル (東京都台東区)、 ファインフルーク公津の杜 (千葉県成田市) 等
北 総 鉄 道 株 式 会 社	本 社	千葉県鎌ヶ谷市
	鉄道営業キロ	32.3km
	駅 数	15駅 (東京都2駅、千葉県13駅)
	車 両 数	客車96両
京 成 バ ス 株 式 会 社	本 社	千葉県市川市
	営 業 キ ロ	3,233.0km
	営 業 所	8箇所 (東京都3箇所、千葉県5箇所)
	車 両 数	834両
帝 都 自 動 車 交 通 株 式 会 社	本 社	東京都中央区
	営 業 所	12箇所 (東京都)
	車 両 数	1,038両
株 式 会 社 京 成 ス ト ア	本 社	東京都葛飾区
	店 舗 数	20店舗 (東京都7店舗、千葉県13店舗)
京 成 建 設 株 式 会 社	本 社	千葉県船橋市
	営 業 所	3箇所 (東京都1箇所、千葉県1箇所、茨城県1箇所)
株 式 会 社 水 戸 京 成 百 貨 店	本 社	茨城県水戸市
	店 舗	1店舗 (茨城県)

- (注) 1. 当社の駅数と北総鉄道株式会社の駅数は、5駅 (京成高砂駅、東松戸駅、新鎌ヶ谷駅、千葉ニュータウン中央駅、印旛日本医大駅) が重複しております。
2. 帝都自動車交通株式会社には、当社の連結子会社8社 (帝都自動車交通株式会社 (新橋・竹橋)、帝都自動車交通株式会社 (渋谷・銀座)、帝都自動車交通株式会社 (神田・日本橋)、帝都自動車交通株式会社 (墨田)、帝都自動車交通株式会社 (日暮里)、帝都自動車交通株式会社 (大森)、帝都自動車交通株式会社 (板橋)、帝都葛飾交通株式会社) を含んでおります。

### (9) 使用人の状況 (平成29年3月31日現在)

使用人数	前連結会計年度末比増減
8,840名 (3,328名)	229名増 (282名増)

(注) 使用人数は就業人員であり、( ) 内には、臨時使用人数の年間平均人員を外数で記載しております。

### (10) 主要な借入先の状況 (平成29年3月31日現在)

借入先	借入額
株式会社日本政策投資銀行	53,102 百万円
三井住友信託銀行株式会社	15,764
株式会社みずほ銀行	10,425
株式会社三菱東京UFJ銀行	9,497

(注) 上記にはシンジケートローンによる借入金 (総額43,000百万円) は含まれておりません。

## 2. 会社の株式に関する事項 (平成29年3月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 500,000,000株
- (2) 発行済株式の総数 172,411,185株
- (3) 株主数 18,543名  
(前期末比 730名増)

### (4) 大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	15,704 <sup>千株</sup>	9.14 <sup>%</sup>
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	9,516	5.54
日本生命保険相互会社	6,008	3.50
株式会社オリエントラルランド	5,850	3.41
株式会社三菱東京UFJ銀行	5,764	3.36
株式会社みずほ銀行	5,715	3.33
三井住友信託銀行株式会社	2,876	1.67
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	2,753	1.60
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行退職給付信託口)	2,234	1.30
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口2)	2,024	1.18

- (注) 1. 持株比率は、自己株式 (663,154株) を控除して算出しております。  
 2. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行退職給付信託口) の持株数2,234千株 (持株比率1.30%) は、三井住友信託銀行株式会社が同行に委託した退職給付信託財産であり、その議決権行使の指図権は三井住友信託銀行株式会社が留保しております。

### (5) その他株式に関する重要な事項

当社は、平成28年10月1日をもって、普通株式2株を1株とする株式併合を行うとともに、単元株式数を1,000株から100株に変更しております。

### 3. 会社役員に関する事項

#### (1) 取締役及び監査役の状況（平成29年3月31日現在）

会社における地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役社長	三枝紀生	新京成電鉄株式会社取締役
代表取締役副社長	平田憲一郎	鉄道本部長 北総鉄道株式会社取締役社長 千葉ニュータウン鉄道株式会社取締役社長
代表取締役専務取締役	小林敏也	経理・開発担当
常務取締役	松上英一郎	総務人事担当
常務取締役	齋藤隆	経営統括担当 京成バス株式会社取締役社長
常務取締役	加藤雅哉	内部監査・経営統括・グループ戦略担当 新京成電鉄株式会社監査役
常務取締役	篠崎敦	船橋交通株式会社取締役社長 株式会社舞浜リゾートキャブ取締役社長 一般社団法人千葉県タクシー協会会長
取締役	宮島宏幸	鉄道副本部長兼鉄道本部建設部長 日暮里駅整備株式会社専務取締役
取締役	芹澤弘之	内部監査部長兼経営統括部長
取締役	河角誠	経理部長
取締役	登嶋進	総務人事部長 京成ハーモニー株式会社取締役社長
取締役	赤井文彌	弁護士 日本空港ビルデング株式会社監査役 日本石油輸送株式会社監査役
取締役	古川康信	日本精工株式会社取締役
取締役	眞下幸人	新京成電鉄株式会社取締役社長
取締役	天野貴夫	京成建設株式会社取締役社長
常勤監査役	村岡隆司	
常勤監査役	河上守	



会社における地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
監査役	上西京一郎	株式会社オリエンタルランド取締役社長兼COO 社長執行役員
監査役	星弘行	空港施設株式会社専務取締役
監査役	松山保臣	株式会社星和ビジネスリンク取締役社長 三菱瓦斯化学株式会社監査役

- (注) 1. 平成28年5月30日をもって、取締役加藤雅人は逝去により退任いたしました。
2. 平成28年6月29日をもって、取締役小山利明、同 神子田健博は任期満了により退任いたしました。
3. 同日をもって、常勤監査役増田 格は任期満了により退任いたしました。
4. 同日をもって、監査役小林研一は任期満了により退任いたしました。
5. 同日をもって、河角 誠、登嶋 進は取締役に就任いたしました。
6. 同日をもって、河上 守は常勤監査役に就任いたしました。
7. 同日をもって、松山保臣は監査役に就任いたしました。
8. 同日をもって、代表取締役専務取締役平田憲一郎は代表取締役副社長に、取締役篠崎 敦は常務取締役に就任いたしました。
9. 同日をもって、常務取締役眞下幸人は取締役となりました。
10. 取締役赤井文彌、同 古川康信は、社外取締役であります。
11. 取締役赤井文彌は、卓照綜合法律事務所所属の弁護士であります。当社は卓照綜合法律事務所と顧問契約を締結しております。
12. 取締役赤井文彌は、日本空港ビルデング株式会社の社外監査役であります。当社は日本空港ビルデング株式会社との間には特別な関係はありません。
13. 取締役赤井文彌は、日本石油輸送株式会社の社外監査役であります。当社は日本石油輸送株式会社との間には特別な関係はありません。
14. 取締役古川康信は、日本精工株式会社の社外取締役であります。当社は日本精工株式会社との間には特別な関係はありません。
15. 常勤監査役村岡隆司、同 河上 守、監査役星 弘行、同 松山保臣は、社外監査役であります。
16. 監査役星 弘行は、空港施設株式会社及び株式会社日本政策投資銀行において、経理部門担当役員の業務経験があり、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。
17. 監査役星 弘行は、空港施設株式会社の専務取締役であります。当社は空港施設株式会社との間には特別な関係はありません。
18. 監査役松山保臣は、日本生命保険相互会社において、経理部門担当役員の業務経験があり、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。
19. 監査役松山保臣は、株式会社星和ビジネスリンクの取締役社長であります。当社は株式会社星和ビジネスリンクとの間には特別な関係はありません。
20. 監査役松山保臣は、三菱瓦斯化学株式会社の社外監査役であります。当社は三菱瓦斯化学株式会社との間には特別な関係はありません。
21. 当社は、取締役赤井文彌、同 古川康信、常勤監査役村岡隆司、同 河上 守、監査役星 弘行、同 松山保臣を、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

## (2) 責任限定契約の内容の概要

当社は、各社外取締役及び各監査役との間で、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第425条第1項に定める最低責任限度額を限度として同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。

### (3) 取締役及び監査役の報酬等の総額

区 分	支給人員	支給額
取 締 役	18名	285百万円
監 査 役	7名	69百万円
合 計	25名	355百万円

- (注) 1. 上記には、平成28年5月30日をもって退任した取締役1名、平成28年6月29日開催の第173期定時株主総会終結の時をもって退任した取締役2名及び監査役2名（うち社外役員2名）を含んでおります。
2. 取締役の支給額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。
3. 上記のうち、社外役員8名に支払った報酬等の総額は、76百万円であります。

### (4) 社外役員に関する事項

#### ① 当事業年度における主な活動状況

##### ア. 取締役会及び監査役会への出席状況

	取締役会	監査役会
取締役 赤井文彌	11回中 7回	—
取締役 古川康信	11回中11回	—
監査役 村岡隆司	11回中11回	12回中12回
監査役 河上守	9回中 9回	9回中 9回
監査役 星弘行	11回中10回	12回中11回
監査役 松山保臣	9回中 9回	9回中 9回

- (注) 取締役赤井文彌は、当事業年度開催の取締役会のうち3回を病気療養のため欠席しております。

##### イ. 取締役会及び監査役会における発言状況

社外取締役及び社外監査役各氏は、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を適宜行っております。また、社外監査役各氏は監査役会において、監査に関する重要事項の質疑や監査結果についての意見交換等を行っております。

## 4. 会計監査人に関する事項

(1) 会計監査人の名称 有限責任監査法人 トーマツ

(2) 会計監査人の報酬等の額

	支払額
① 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額	64百万円
② 当社及び子会社が支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額	99百万円

- (注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できないため、上記①の金額はこれらの合計額を記載しております。
2. 当社監査役会は、会計監査人から提示を受けた当事業年度の監査計画の内容及び必要な監査品質を維持するための監査体制・監査時間は妥当であり、それらをもとに算定された報酬額も妥当であると判断し、会計監査人の報酬等の額について同意いたしました。

(3) 非監査業務の内容

当社は、会計監査人に対して、公認会計士法第2条第1項の業務以外の業務（非監査業務）である社債発行に関するコンフォートレターの作成業務を委託しております。

(4) 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

当社監査役会は、会計監査人について、会社法第340条第1項各号に該当するなどの事実を確認したときは、速やかにその内容を調査し、監査継続が困難である、あるいは監査を行わせることが適当でないと判断した場合は、法令に定める手続きに従い、解任または不再任の手続きを行います。

## 5. 業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

法令及び当社定款第15条の規定に基づき、当社ホームページに掲載しております。

 <http://www.keisei.co.jp/>

## 6. 会社の支配に関する基本方針

法令及び当社定款第15条の規定に基づき、当社ホームページに掲載しております。

 <http://www.keisei.co.jp/>

(注) 本事業報告は、次により記載しております。

1. 百万円単位の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。  
なお、1株当たり当期純利益は四捨五入により表示しております。
2. 千株単位の株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

# 連結計算書類

## 連結貸借対照表 (平成29年3月31日現在)

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>	百万円	<b>(負債の部)</b>	百万円
<b>流動資産</b>	<b>96,118</b>	<b>流動負債</b>	<b>176,120</b>
現金及び預金	23,483	支払手形及び買掛金	19,398
受取手形及び売掛金	19,434	短期借入金	55,540
分譲土地建物	5,571	1年内償還予定の社債	10,000
商品	2,314	リース債務	4,138
仕掛品	764	未払法人税等	4,791
原材料及び貯蔵品	2,332	前受金	47,451
繰延税金資産	1,892	賞与引当金	2,812
その他	40,372	役員賞与引当金	41
貸倒引当金	△46	その他	31,943
<b>固定資産</b>	<b>699,187</b>	<b>固定負債</b>	<b>286,982</b>
有形固定資産	488,576	社債	40,000
建物及び構築物	270,354	長期借入金	127,968
機械装置及び運搬具	18,964	鉄道・運輸機構長期未払金	55,254
土地	146,414	リース債務	19,829
リース資産	30,973	繰延税金負債	1,838
建設仮勘定	19,835	役員退職慰労引当金	384
その他	2,035	退職給付に係る負債	30,961
無形固定資産	11,066	その他	10,746
リース資産	1,491		
その他	9,574	<b>負債合計</b>	<b>463,102</b>
投資その他の資産	199,545	<b>(純資産の部)</b>	
投資有価証券	184,091	<b>株主資本</b>	<b>317,608</b>
長期貸付金	624	資本金	36,803
繰延税金資産	11,139	資本剰余金	28,533
その他	4,598	利益剰余金	254,307
貸倒引当金	△908	自己株式	△2,036
<b>繰延資産</b>	<b>140</b>	その他の包括利益累計額	4,458
		その他有価証券評価差額金	4,491
		繰延ヘッジ損益	△70
		退職給付に係る調整累計額	37
		非支配株主持分	10,277
<b>資産合計</b>	<b>795,447</b>	<b>純資産合計</b>	<b>332,344</b>
		<b>負債純資産合計</b>	<b>795,447</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書 (平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

科 目	金 額	
	百万円	百万円
<b>営業収益</b>		<b>245,837</b>
<b>営業費</b>		
運輸業等営業費及び売上原価	181,080	
販売費及び一般管理費	34,708	215,788
<b>営業利益</b>		<b>30,048</b>
<b>営業外収益</b>		
受取利息及び配当金	499	
持分法による投資利益	18,991	
その他の収益	1,627	21,118
<b>営業外費用</b>		
支払利息	3,437	
その他の費用	664	4,102
<b>経常利益</b>		<b>47,064</b>
<b>特別利益</b>		
工事負担金等受入額	7,811	
その他の特別利益	375	8,187
<b>特別損失</b>		
固定資産圧縮損	7,785	
固定資産除却損	374	
減損損失	235	
その他の特別損失	260	8,655
<b>税金等調整前当期純利益</b>		<b>46,595</b>
法人税、住民税及び事業税	8,531	
法人税等調整額	412	
<b>法人税等計</b>		<b>8,944</b>
<b>当期純利益</b>		<b>37,651</b>
<b>非支配株主に帰属する当期純利益</b>		<b>1,939</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>		<b>35,711</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結計算書類の「連結株主資本等変動計算書」及び「連結注記表」につきましては、法令及び当社定款第15条の規定に基づき、当社ホームページに掲載しております。

 <http://www.keisei.co.jp/>

# 計 算 書 類

## 貸借対照表 (平成29年3月31日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>	百万円	<b>(負債の部)</b>	百万円
<b>流動資産</b>	<b>55,419</b>	<b>流動負債</b>	<b>165,963</b>
現金及び預金	4,861	短期借入金	45,147
未収運賃	4,453	1年内償還社債	10,000
未収金	2,103	リース債務	2,753
リース投資資産	2,066	未払金	15,934
短期貸付金	2,077	未払費用	1,061
分譲土地建物	5,534	未払消費税等	1,366
貯蔵品	1,752	未払法人税等	2,319
前払費用	1,104	預り連絡運賃	712
繰延税金資産	629	預り金	36,745
その他の流動資産	30,837	前受運賃	2,251
貸倒引当金	△1	前受金	46,557
<b>固定資産</b>	<b>456,154</b>	賞与引当金	992
鉄道事業固定資産	234,799	その他の流動負債	118
開発事業固定資産	103,569	<b>固定負債</b>	<b>196,214</b>
各事業関連固定資産	4,019	社債	40,000
建設仮勘定	19,414	長期借入金	114,995
投資その他の資産	94,352	リース債務	15,709
関係会社株式	63,482	退職給付引当金	18,899
投資有価証券	9,461	資産除去債務	1,099
長期貸付金	19,266	その他の固定負債	5,510
繰延税金資産	824	<b>負債合計</b>	<b>362,177</b>
その他の投資等	1,320	<b>(純資産の部)</b>	
貸倒引当金	△1	<b>株主資本</b>	<b>147,739</b>
<b>繰延資産</b>	<b>140</b>	<b>資本金</b>	<b>36,803</b>
社債発行費	140	<b>資本剰余金</b>	<b>27,904</b>
		資本準備金	27,845
		その他資本剰余金	58
		<b>利益剰余金</b>	<b>83,825</b>
		利益準備金	3,038
		その他利益剰余金	80,787
		別途積立金	8,095
		繰越利益剰余金	72,691
		<b>自己株式</b>	<b>△794</b>
		<b>評価・換算差額等</b>	<b>1,798</b>
		その他有価証券評価差額金	1,798
<b>資産合計</b>	<b>511,715</b>	<b>純資産合計</b>	<b>149,537</b>
		<b>負債純資産合計</b>	<b>511,715</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）

科 目	金 額	
	百万円	百万円
<b>鉄道事業</b>		
営業収益	64,401	
営業費	53,582	
営業利益		10,819
<b>開発事業</b>		
営業収益	12,448	
営業費	7,158	
営業利益		5,290
<b>全事業営業利益</b>		<b>16,109</b>
<b>営業外収益</b>		
受取利息及び配当金	4,622	
その他の収益	1,207	5,830
<b>営業外費用</b>		
支払利息	2,689	
その他の費用	703	3,393
<b>経常利益</b>		<b>18,546</b>
<b>特別利益</b>		
工事負担金等受入額	6,596	
その他の特別利益	250	6,846
<b>特別損失</b>		
固定資産圧縮損	6,577	
その他の特別損失	264	6,841
<b>税引前当期純利益</b>		<b>18,551</b>
法人税、住民税及び事業税	4,348	
法人税等調整額	390	
<b>法人税等計</b>		<b>4,738</b>
<b>当期純利益</b>		<b>13,812</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

計算書類の「株主資本等変動計算書」及び「個別注記表」につきましては、法令及び当社定款第15条の規定に基づき、当社ホームページに掲載しております。

 <http://www.keisei.co.jp/>

# 監査報告

## 連結計算書類に係る会計監査人の会計監査報告

### 独立監査人の監査報告書

平成29年5月11日

京成電鉄株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 滝沢 勝己 ㊞  
指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 古賀 祐一郎 ㊞

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、京成電鉄株式会社の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

#### 連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、京成電鉄株式会社及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上



## 計算書類に係る会計監査人の会計監査報告

### 独立監査人の監査報告書

平成29年5月11日

京 成 電 鉄 株 式 会 社  
取 締 役 会 御 中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 滝 沢 勝 己 ㊞  
指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 古 賀 祐 一 郎 ㊞

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、京成電鉄株式会社の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの第174期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

#### 計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

招 集 ご 通 知

事 業 報 告

連 結 計 算 書 類

計 算 書 類

監 査 報 告

株 主 総 会 参 考 書 類

### 監 査 報 告 書

当監査役会は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの第174期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
  - ① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
  - ② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。なお、財務報告に係る内部統制については、取締役等及び有限責任監査法人トーマツから当該内部統制の評価及び監査の状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
  - ③ 事業報告に記載されている会社法施行規則第118条第3号イの基本方針及び同号ロの各取組み（株式会社の支配に関する基本方針）については、取締役会その他における審議の状況等を踏まえ、その内容について検討を加えました。
  - ④ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、財務報告に係る内部統制を含め、指摘すべき事項は認められません。
- ④ 事業報告に記載されている会社の支配に関する基本方針については、指摘すべき事項は認められません。事業報告に記載されている会社法施行規則第118条第3号ロの各取組みは、当該基本方針に沿ったものであり、当社の株主共同の利益を損なうものではなく、かつ、当社の会社役員の地位の維持を目的とするものではないと認めます。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

平成29年5月16日

京成電鉄株式会社 監査役会

常勤監査役 村岡隆司<sup>Ⓔ</sup>

常勤監査役 河上守<sup>Ⓔ</sup>

監査役 上西京一郎<sup>Ⓔ</sup>

監査役 星弘行<sup>Ⓔ</sup>

監査役 松山保臣<sup>Ⓔ</sup>

(注) 監査役村岡隆司、同河上守、同星弘行及び同松山保臣は、会社法第2条第16号及び第335条第3項に定める社外監査役であります。

以上

## 議案及び参考事項

### 第1号議案 第174期剰余金処分の件

当社は、今後の事業展開と経営基盤の強化安定に必要となる内部留保資金の確保や業績等を勘案しながら、株主の皆様へ安定的かつ継続的に利益還元していくことを基本方針としております。当期の期末配当につきましては、上記の方針に基づき、次のとおりといたしたいと存じます。

(1) 配当財産の種類  
金銭

(2) 株主に対する配当財産の割当てに関する事項及びその総額  
当社普通株式1株につき金8円  
総額1,373,984,248円

なお、当社は、平成28年10月1日をもって、普通株式2株を1株とする株式併合を行っております。当期の中間配当金につきましては、1株につき3円にてお支払いしておりますので、当期の1株当たり年間配当金は、株式併合前に換算いたしますと、中間配当金3円と期末配当金4円を合わせた7円(50銭の増配)、株式併合後に換算いたしますと、中間配当金6円と期末配当金8円を合わせた14円(1円の増配)に相当いたします。

(3) 剰余金の配当が効力を生じる日  
平成29年6月30日

## 第2号議案 取締役16名選任の件

取締役全員15名は、本定時株主総会の終結の時をもって任期満了となります。つきましては、取締役を1名増員し、取締役16名の選任をお願いいたしたいと存じます。なお、本増員は、平成28年5月30日をもって取締役1名が逝去により退任し、取締役1名が減員となっていることによります。

取締役候補者は次のとおりであります。

候補者番号	氏名	現在の当社における地位及び担当
1	<span>再任</span> さいぐさのりお 三枝紀生	取締役社長
2	<span>再任</span> ひらたけんいちろう 平田憲一郎	取締役副社長 鉄道本部長
3	<span>再任</span> こばやしとしや 小林敏也	専務取締役 経理・開発担当
4	<span>再任</span> まつかみえいいちろう 松上英一郎	常務取締役 総務人事担当
5	<span>再任</span> さいとうたかし 齋藤隆	常務取締役 経営統括担当
6	<span>再任</span> かとうまさや 加藤雅哉	常務取締役 内部監査・経営統括・グループ戦略担当
7	<span>再任</span> しのぎあつし 篠崎敦	常務取締役
8	<span>再任</span> みやじまひろゆき 宮島宏幸	取締役 鉄道副本部長兼鉄道本部建設部長
9	<span>再任</span> せりざわひろゆき 芹澤弘之	取締役 内部監査部長兼経営統括部長
10	<span>再任</span> かわすみまこと 河角誠	取締役 経理部長
11	<span>再任</span> としますすむ 登嶋進	取締役 総務人事部長
12	<span>再任</span> あか井ふみや 赤井文彌 <span>社外</span> <span>独立役員</span>	取締役
13	<span>再任</span> ふるかかわやすのぶ 古川康信 <span>社外</span> <span>独立役員</span>	取締役
14	<span>再任</span> ましもゆきひと 眞下幸人	取締役
15	<span>再任</span> あまのたかお 天野貴夫	取締役
16	<span>新任</span> ひろやまさひろ 室谷正裕	—

候補者番号	氏名 (生年月日)	略歴 (地位及び担当並びに重要な兼職の状況)	所有する当社の株式の数
1	さい ぐさ のり お <b>三枝紀生</b> (昭和24年2月11日生) <b>再任</b>	昭和46年4月 当社入社 平成16年6月 当社取締役 平成18年6月 当社常務取締役 平成20年6月 当社専務取締役 平成22年6月 当社取締役副社長 平成23年6月 当社取締役社長 現在に至る 重要な兼職の状況 新京成電鉄株式会社取締役	73,200株
<b>【取締役候補者とした理由】</b> 同氏は、当社の様々な事業部門での業務執行を経験した後、現在は取締役社長として強力なリーダーシップを発揮し、当社グループ全体の経営を統括しております。今後もこれまでの豊富な経験と実績をもとに、当社グループの事業発展や中長期的な企業価値向上に貢献すると考えられることから、引き続き取締役候補者いたしました。			
2	ひら た けんいちろう <b>平田憲一郎</b> (昭和25年11月7日生) <b>再任</b>	平成18年7月 国土交通省鉄道局長 平成19年10月 日本政策投資銀行理事 平成20年10月 株式会社日本政策投資銀行常務執行役員 平成24年6月 当社常務取締役 平成26年6月 当社専務取締役 平成28年6月 当社取締役副社長鉄道本部長 現在に至る 重要な兼職の状況 千葉ニュータウン鉄道株式会社取締役社長 北総鉄道株式会社取締役社長	15,800株
<b>【取締役候補者とした理由】</b> 同氏は、長年にわたる官庁及び金融機関での勤務経験を有し、現在は取締役副社長として鉄道部門を担っております。今後もこれまでの豊富な経験と実績をもとに、当社の事業発展や中長期的な企業価値向上に貢献すると考えられることから、引き続き取締役候補者いたしました。			

候補者番号	氏名 (生年月日)	略歴 (地位及び担当並びに重要な兼職の状況)	所有する当社の株式の数
3	<p>こばやし とし や 小林 敏也 (昭和34年7月30日生)</p> <p>再任</p>	<p>昭和57年4月 当社入社 平成22年6月 当社取締役 平成25年6月 当社常務取締役 平成27年6月 当社専務取締役 平成28年6月 当社専務取締役経理・開発担当 現在に至る</p>	32,400株
	<p>【取締役候補者とした理由】</p> <p>同氏は、入社以来開発部門及び鉄道部門等に携わり、現在は専務取締役として経理部門及び開発部門を担っております。今後もこれまでの豊富な経験と実績をもとに、当社の事業発展や中長期的な企業価値向上に貢献すると考えられることから、引き続き取締役候補者といたしました。</p>		
4	<p>まつ かみ えい ちろう 松上 英一郎 (昭和37年2月23日生)</p> <p>再任</p>	<p>昭和59年4月 当社入社 平成23年6月 当社取締役 平成25年6月 当社常務取締役 平成28年6月 当社常務取締役総務人事担当 現在に至る</p>	23,100株
	<p>【取締役候補者とした理由】</p> <p>同氏は、入社以来総務人事部門及びグループバス事業等に携わり、現在は常務取締役として総務人事部門を担っております。今後もこれまでの豊富な経験と実績をもとに、当社の事業発展や中長期的な企業価値向上に貢献すると考えられることから、引き続き取締役候補者といたしました。</p>		
5	<p>さい とう たかし 齋藤 隆 (昭和33年12月11日生)</p> <p>再任</p>	<p>昭和57年4月 当社入社 平成25年6月 当社取締役 平成27年6月 京成バス株式会社取締役社長 現在に至る 平成27年6月 当社常務取締役経営統括担当 現在に至る</p> <p>重要な兼職の状況 京成バス株式会社取締役社長</p>	15,200株
	<p>【取締役候補者とした理由】</p> <p>同氏は、入社以来長年にわたりグループバス事業に携わり、現在は常務取締役として経営統括部門及びグループ会社の経営を担っております。今後もこれまでの豊富な経験と実績をもとに、当社の事業発展や中長期的な企業価値向上に貢献すると考えられることから、引き続き取締役候補者といたしました。</p>		

候補者番号	氏名 (生年月日)	略歴 (地位及び担当並びに重要な兼職の状況)	所有する当社の株式の数
6	<p>かとうまさや 加藤雅哉 (昭和35年8月6日生)</p> <p>再任</p>	<p>平成20年8月 株式会社みずほ銀行与信企画部長 平成22年4月 株式会社みずほフィナンシャルグループ 人事部長 平成25年4月 みずほ証券株式会社執行役員 平成26年6月 当社取締役 平成27年6月 当社常務取締役内部監査・経営統括・ グループ戦略担当 現在に至る</p> <p>重要な兼職の状況 新京成電鉄株式会社監査役 ケイ・アンド・アール・ホテルデベロップメント株式会社取締役社長</p>	8,000株
<p>【取締役候補者とした理由】 同氏は、長年にわたる金融機関での勤務経験を有し、現在は常務取締役として内部監査・経営統括・グループ戦略部門を担っております。今後もこれまでの豊富な経験と実績をもとに、当社の事業発展や中長期的な企業価値向上に貢献すると考えられることから、引き続き取締役候補者といたしました。</p>			
7	<p>しのざきあつし 篠崎敦 (昭和36年8月13日生)</p> <p>再任</p>	<p>昭和61年4月 当社入社 平成24年4月 船橋交通株式会社取締役社長 現在に至る 平成25年6月 当社取締役 平成28年6月 当社常務取締役 現在に至る</p> <p>重要な兼職の状況 船橋交通株式会社取締役社長 一般社団法人千葉県タクシー協会会長</p>	13,200株
<p>【取締役候補者とした理由】 同氏は、入社以来グループタクシー事業及び経営統括部門等に携わり、現在は常務取締役としてグループ会社の経営を担っております。今後もこれまでの豊富な経験と実績をもとに、当社グループの事業発展や中長期的な企業価値向上に貢献すると考えられることから、引き続き取締役候補者といたしました。</p>			



候補者番号	氏名 (生年月日)	略歴 (地位及び担当並びに重要な兼職の状況)	所有する当社の株式の数
8	<small>みや じま ひろ ゆき</small> <b>宮島 宏幸</b> (昭和41年2月25日生) 再任	昭和63年4月 当社入社 平成27年6月 当社取締役鉄道副本部長兼鉄道本部建設部長 現在に至る 重要な兼職の状況 日暮里駅整備株式会社専務取締役	11,100株
	<b>【取締役候補者とした理由】</b> 同氏は、入社以来長年にわたり鉄道部門に携わり、現在は取締役として鉄道部門を担っております。今後もこれまでの豊富な経験と実績をもとに、当社の事業発展や中長期的な企業価値向上に貢献することから、引き続き取締役候補者いたしました。		
9	<small>せり ざわ ひろ ゆき</small> <b>芹澤 弘之</b> (昭和40年5月6日生) 再任	平成元年4月 当社入社 平成27年6月 当社取締役内部監査部長兼経営統括部長 現在に至る	8,700株
	<b>【取締役候補者とした理由】</b> 同氏は、入社以来経営統括部門及びグループバス事業等に携わり、現在は取締役として内部監査・経営統括部門を担っております。今後もこれまでの豊富な経験と実績をもとに、当社の事業発展や中長期的な企業価値向上に貢献することから、引き続き取締役候補者いたしました。		
10	<small>かわ すみ まこと</small> <b>河角 誠</b> (昭和42年3月8日生) 再任	平成元年4月 当社入社 平成28年6月 当社取締役経理部長 現在に至る	8,300株
	<b>【取締役候補者とした理由】</b> 同氏は、入社以来長年にわたり経理部門等に携わり、現在は取締役として経理部門を担っております。今後もこれまでの豊富な経験と実績をもとに、当社の事業発展や中長期的な企業価値向上に貢献することから、引き続き取締役候補者いたしました。		
11	<small>と しま すすむ</small> <b>登嶋 進</b> (昭和42年7月13日生) 再任	平成2年4月 当社入社 平成28年6月 当社取締役総務人事部長 現在に至る 重要な兼職の状況 京成ハーモニー株式会社取締役社長	5,800株
	<b>【取締役候補者とした理由】</b> 同氏は、入社以来鉄道部門及び総務人事部門等に携わり、現在は取締役として総務人事部門を担っております。今後もこれまでの豊富な経験と実績をもとに、当社の事業発展や中長期的な企業価値向上に貢献することから、引き続き取締役候補者いたしました。		

候補者番号	氏名 (生年月日)	略歴 (地位及び担当並びに重要な兼職の状況)	所有する当社の株式の数
12	<p>あか い ふみ や 赤井文彌 (昭和13年11月8日生)</p> <p>再任 社外</p> <p>独立役員</p>	<p>昭和41年4月 弁護士登録(第一東京弁護士会)</p> <p>昭和46年8月 卓照法律事務所(現 卓照総合法律事務所)開設 同事務所弁護士 現在に至る</p> <p>平成26年6月 当社取締役 現在に至る</p> <p>重要な兼職の状況 弁護士 日本空港ビルデング株式会社監査役 日本石油輸送株式会社監査役</p>	0株
<p>【社外取締役候補者とした理由】</p> <p>同氏は、弁護士の経験及び幅広い見識を有し、企業経営にも多くの立場で関与しており、現在は社外取締役として、取締役会に対する有益なアドバイスをいただいております。今後も社外取締役としての職務を適切に遂行していただけるものと判断し、引き続き社外取締役候補者といたしました。</p>			
13	<p>ふる かわ やす のぶ 古川康信 (昭和28年10月11日生)</p> <p>再任 社外</p> <p>独立役員</p>	<p>昭和55年9月 公認会計士登録</p> <p>平成22年8月 新日本有限責任監査法人経営専務理事</p> <p>平成24年8月 新日本有限責任監査法人シニア・アドバイザー</p> <p>平成26年6月 当社取締役 現在に至る</p> <p>重要な兼職の状況 日本精工株式会社取締役</p>	0株
<p>【社外取締役候補者とした理由】</p> <p>同氏は、公認会計士の経験及び幅広い見識を有し、企業経営にも多くの立場で関与しており、現在は社外取締役として、取締役会に対する有益なアドバイスをいただいております。今後も社外取締役としての職務を適切に遂行していただけるものと判断し、引き続き社外取締役候補者といたしました。</p>			

候補者番号	氏名 (生年月日)	略歴 (地位及び担当並びに重要な兼職の状況)	所有する当社の株式の数
14	<p>ま し も ゆ き ひと 眞 下 幸 人 (昭和37年2月1日生)</p> <p>再任</p>	<p>昭和59年4月 当社入社 平成23年6月 当社取締役 平成25年6月 当社常務取締役 平成28年6月 新京成電鉄株式会社取締役社長 現在に至る 平成28年6月 当社取締役 現在に至る</p> <p>重要な兼職の状況 新京成電鉄株式会社取締役社長</p>	19,000株
	<p>【取締役候補者とした理由】 同氏は、入社以来経理部門及びグループレジャー・サービス業等に携わり、現在は取締役としてグループ会社の経営を担っております。今後もこれまでの豊富な経験と実績をもとに、当社グループの事業発展や中長期的な企業価値向上に貢献すると考えられることから、引き続き取締役候補者といたしました。</p>		
15	<p>あま の たか お 天 野 貴 夫 (昭和40年9月21日生)</p> <p>再任</p>	<p>昭和63年4月 当社入社 平成27年6月 当社取締役 現在に至る 平成28年6月 京成建設株式会社取締役社長 現在に至る</p> <p>重要な兼職の状況 京成建設株式会社取締役社長</p>	9,100株
	<p>【取締役候補者とした理由】 同氏は、入社以来長年にわたり鉄道部門等に携わり、現在は取締役としてグループ会社の経営を担っております。今後もこれまでの豊富な経験と実績をもとに、当社グループの事業発展や中長期的な企業価値向上に貢献すると考えられることから、引き続き取締役候補者といたしました。</p>		
16	<p>むろ や まさ ひろ 室 谷 正 裕 (昭和31年3月15日生)</p> <p>新任</p>	<p>平成25年8月 国土交通省運輸安全委員会事務局長 平成26年10月 一般社団法人日本民営鉄道協会常務理事 現在に至る</p>	0株
	<p>【取締役候補者とした理由】 同氏は、長年にわたる官庁での勤務経験を有し、現在は業界団体理事として事業・業界の発展に貢献しております。今後、これまでの豊富な経験と実績をもとに、当社の事業発展や中長期的な企業価値向上に貢献すると考えられることから、取締役候補者となりました。</p>		

(注) 1. 当社は、北総鉄道株式会社との間で線路の使用等の取引を行っております。また当社は同社と同一の事業の部類に属する取引（鉄道による一般運輸業）を行っております。

2. 当社は、新京成電鉄株式会社との間で施設の使用等の取引を行っております。また当社は同社と同一の事業の部類に属する取引（鉄道による一般運輸業並びに土地建物の売買及び賃貸業）を行っております。
3. 当社は、京成建設株式会社との間で工事の発注等の取引を行っております。また当社は同社と同一の事業の部類に属する取引（土地建物の売買及び賃貸業）を行っております。
4. 赤井文彌及び古川康信の両氏は、社外取締役の候補者であります。
5. 赤井文彌氏が所属する卓照綜合法律事務所は当社と顧問契約を締結しておりますが、その取引額は連結売上高の1%未満であります。
6. 古川康信氏が所属していた新日本有限責任監査法人は、同氏が経営専務理事として在任していた期間中の監査証明に関し、オリンパス株式会社については平成24年7月、株式会社東芝については平成27年12月に金融庁から業務改善命令を受けております。
7. 赤井文彌及び古川康信の両氏の当社の社外取締役としての在任期間は、本總會終結の時をもって3年となります。
8. 当社は、赤井文彌及び古川康信の両氏との間で会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第425条第1項に定める最低責任限度額を限度として同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。
9. 当社は、赤井文彌及び古川康信の両氏を、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

## 第3号議案 監査役1名選任の件

監査役村岡隆司氏は本定時株主総会の終結の時をもって任期満了となりますので、監査役1名の選任をお願いいたしたいと存じます。

なお、本議案につきましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は次のとおりであります。

氏名 (生年月日)	略歴 (地位及び重要な兼職の状況)	所有する当社の株式の数
村岡隆司 (昭和29年1月31日生) 再任 社外 独立役員	平成17年5月 株式会社UFJ銀行執行役員 平成20年4月 株式会社三菱東京UFJ銀行常務執行役員 平成23年6月 当社常勤監査役 現在に至る	8,600株
<b>【社外監査役候補者とした理由】</b> 同氏は、経歴のとおり経営者としての豊富な経験及び幅広い見識を有しており、客観的・中立的な立場から取締役会に対する有益なアドバイスをいただくとともに、当社の経営執行等の適法性について監査をしていただけるものと判断し、引き続き社外監査役候補者といたしました。		

- (注) 1. 村岡隆司氏は、社外監査役の候補者であります。
2. 村岡隆司氏の当社の社外監査役としての在任期間は、本総会終結の時をもって6年となります。
3. 当社は、村岡隆司氏との間で会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第425条第1項に定める最低責任限度額を限度として同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。
4. 当社は、村岡隆司氏を、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

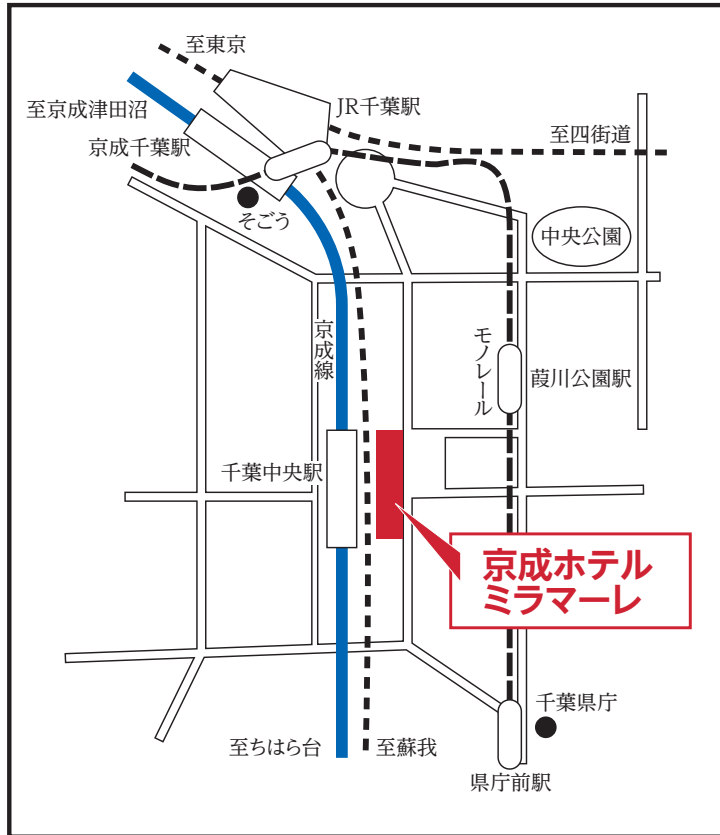
以上

(メモ欄)

(メモ欄)

# 株主総会会場ご案内図

会 場 千葉県千葉市中央区本千葉町15番1号  
京成ホテルミラマーレ 6階「ローズルーム」  
交 通 京成線 千葉中央駅直結



〔駐車場の用意がございませんので、  
お車でのご来場はご遠慮ください。〕

株主総会ご出席の株主様へのお土産はご用意しておりません。  
何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。